

以下、人命救助、生活救援及び倒壊家屋の処理の各段階の成果と問題点を説明するが、問題点は当時における問題点であり、今日ではそれらの内幾つかは既に改善されているので、その点了として頂きたい。



人 命 救 助 段 階 の 成 果 並 び に 問 題 点 等

1 成果

出動の当初3日間：生存救出　：142名、
御遺体収容：775体
爾後　　　　　　：生存救出　：15名
御遺体収容：446体

2 問題点等

- (1) 人命救助用資器材の不足
(例えばコンクリートカッター、携帯削岩機等)
- (2) 行方不明者に関するきめ細かな情報の不足
- (3) 急患空輸に関するシステムの未確立
- (4) 被災地への部隊集中の困難性
発災直後における部隊の移動(集中)状況(下表)

日	部隊等名	出発地	到着地	移動経路	所要時間（通常の所要時間）
17日 午前	特科連隊連絡 幹部	姫路駐屯 地	兵庫県庁	姫路バイパス～第2神 明	13.5時間（約2. 5時間）
17日 夜間	37連隊主力	信太山駐 屯地	東灘 区	R26～中央環状線～阪 神高速～R2	6時間（約2時間）*

備考：*印：反対車線をパトカー先導

- (5) 部隊集結地の確保の困難性
- (6) ヘリポートの確保の困難性
- (7) 2次災害防止の処置
- (8) 遺体搬出に関する法的制約
- (9) 発災直後における部隊運用に資する情報の僅少